

## 「水のみち構想」説明会における主な意見・質問に対する回答

○令和3年7月15日（木）（地域交流センター） 出席者：8名

○令和3年8月19日（木）（生涯学習センター） 出席者：9名

### ◆主な意見・質問に対する回答

項 目	意 見・質 問	回 答
親水広場に関する事項	階段状で水面に降りていける計画だが、大雨の際、新発田川の水が親水広場から越水するのではないか。	階段状の部分に水が滞留すると推察されるが、親水広場が越水の要因につながるとは考えにくい。 当市がこれまで経験したことがない時間雨量50mmであった昨年7月31日の豪雨でも、新発田川は溢れず、耐えられた状況であった。
	親水広場ができることで違法駐車を誘発しかねない。新たに駐車場をつくるのか。	親水広場用の駐車場整備は考えていない。 この水のみち構想は、新発田川沿いを歩いて回遊していただき、新発田川に触れていただきたいという趣旨から、駐車場については、周辺の民間及び市の駐車場を利用するようアナウンスします。
	水面に降りれるということは水難事故や転落事故などの発生が心配されるが、安全対策はどのように考えているのか。	現地に周知看板を設置するなど、注意喚起の措置を講じてまいります。
	人が集う施設となると治安の問題や火気の扱いなど、住民の生活が脅かされる不安がある。	警察など関係機関と協議し、巡回や注意喚起の措置などの対策を講じてまいります。 あわせて、現地には照明灯を設置します。
	親水広場が暗いように感じるが、照明灯のほかに夜間照明などは検討されているのか。	小水力発電を活用しながら、ほんのりと灯りが灯るような電灯整備を計画しております。
	親水広場は、イメージのとおり、階段を作り新発田川の水面に降りるようになるのか。	イメージどおりの整備を予定しています。
	親水広場の工事は10月から実施と聞いているが、住民が不安だらけの状態で行うのか。工事期間は。	不安視されている点については、改善できるよう努めてまいります。親水広場の工事は、令和3年度、令和4年度の2ヵ年で進めてまいりますので、ご理解をお願いします。 なお、工事の時期は主に川の水量が少ない時期（渇水期）に実施する方向で考えております。

項 目	意 見・質 問	回 答
	<p>親水広場の工事よりも、周辺の道路や橋の修繕工事を優先すべきではないか。</p>	<p>新発田川沿いの道路は、この事業（街なみ環境整備事業）で護岸整備後に美装化（舗装打替）を計画しています。</p> <p>橋は、別事業である橋りょう長寿命化の修繕計画に基づき修繕を進めているので、できる限り護岸整備のタイミングと調整を図りたいと考えております。</p> <p>なお、それまでの間、通行に支障が生じる場合は、適時修繕を行ってまいります。</p>
	<p>親水広場を整備する理由は。</p>	<p>地域の皆様と協働で作上げた「水のみち構想」の実現に向けた事業であり、この親水広場の整備は、構想の主たる施設として位置付けているものです。</p>
	<p>既にイメージパース（青写真）ができていますが、整備に関して意見を聞く場は設けないのか。</p>	<p>いただいたご意見については、できる限り整備に反映してまいります。まずはイメージパースのとおり進めていくことにご理解をお願いするとともに、工事説明会などを通じて、意見聴取の場を設けてまいりたいと考えております。</p>
<p>護岸整備に関する事項</p>	<p>護岸などの整備計画はどうなっているのか。</p>	<p>水のみち地区の護岸は両岸整備を計画しています。</p> <p>現時点では、親水広場完成後の令和5年度から、護岸整備、舗装美装化整備に着手したいと考えており、概ね国道290号付近から下流に向い年次的に整備する方向で、国、県と財源確保とあわせて調整しているところであります。</p>
	<p>護岸整備により新発田川の川幅は狭くなるのか。</p>	<p>寺町・清水谷地区と同様に川の中に護岸を築造するため、水が流れる幅が若干狭くなりますが、新発田川自体の見ごたえや通水に影響はありません。</p>
	<p>道路幅が狭いのに歩行者の安全は大丈夫なのか。</p>	<p>現状の道路幅を維持することとし、舗装の美装化により車へ注意喚起を促せるとともに、歩行者との共存が図られるものと考えています。</p>
	<p>護岸整備の一部区間が三面コンクリート構造ということは、河床がコンクリート化され、水草が生えず魚が住みにくくなる。水質も向上している現状からも再考できないか。</p>	<p>現設計では、道路幅員の確保から強固な護岸構造としております。しかしながら、新発田川の水質も向上し、川の美しさや水面の風情など、かつての新発田川を自然の形で残したいという思いは同じですので、より良い方法を考えてまいります。</p>

項 目	意 見・質 問	回 答
その他に関する事項	暮らしで不便を感じていることが根底にあるようである。新発田川沿いの道路は狭く、車一台しか通れず渋滞を引き起こしている。そのような状況で人が集い、歩いて回遊する道路として良いものか。	新発田川沿いの道路が“狭い”という点も城下町の風情と考慮しております。舗装の美装化により、更に現状を活かすという考えをもって整備してまいりますので、ご理解をお願いします。
	水のみち構想における新発田川の護岸整備区域では、宅地側の護岸が壊れかけているところもあるが、補修などはするのか。	現状宅地側は、土などが川に流れ出ないように土留として個人で造られたもの（個人財産）でありますことからそれ自体を市で補修することはむずかしいですが、この事業では新発田川の護岸として川幅の中に道路側と宅地側に護岸を築造する計画でありますので、ご理解をお願いいたします。
	親水広場脇の道路は、歩道用の舗装や側溝の形態となっていると思うが、歩道ではないのか。	車道（市道旅屋小路1号線）です。工事に際しては、現場を十分確認し進めてまいります。
	昨年7月31日の大雨で新発田川は溢水しなかったのか。道路は冠水していたが。	昨年の大雨は、これまで当市が経験したことがない時間雨量50mmという豪雨でありましたが、新発田川からあふれ出すことはありませんでした。しかし、新発田川の水位が上がったことにより、道路側溝の水が川に流れにくい状況となったため道路側溝から水があふれるといった現象となりました。
	新発田市には時間雨量50mm以上の雨は降らないのか。降るようであれば新発田川が溢水する危険があり、非常に不安である。	降らないとは言いきれません。 新発田川の下流部は、平成14年新発田川放水路の完成、平成25年に法河川区域の改修が完了するとともに、上流部では、赤沼川排水路へ分流し市街地への流入を制限するなど、洪水対策を講じていることから、この度の時間雨量50mmの豪雨に耐えられたものと考えております。
	我々が生活するところの新発田川は、どれくらいの降雨量になると避難しなければならないのか。	ハザードマップでは、時間雨量40mmと時間雨量70mmの浸水エリアが示されているので、確認をお願いします。
	事業全体のスケジュールはどうなっているのか。	街なみ環境整備事業として平成12年度から着手した「寺町・清水谷地区」の整備が一定の完了を迎えたことから、この親水広場の整備から「水のみち地区」の本格着手の運びとなります。 財源確保も厳しい折、思うような進捗が期待できない状況から完了年次を定めることはむずかしいところですが、市民の皆様への事業PRも兼ねまして、着実に事業を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

項 目	意 見・質 問	回 答
	橋の名前を何号橋とか何号線とかではなく、地元の名称を使ってもらいたい。	どのような名称が良いのか、ご相談をお願いいたします。具体例がありましたらご教授ください。
	市民はもとより来訪者が集い、交流が生まれる場としてまちなかの再生を図るというが、どれだけの観光客の入込を見込んでいるか。その数字が出ないと事業評価につながらないのではないか。	観光客の入込数ということではなく、まちづくり総合計画の施策10 景観「新発田らしい歴史景観と自然景観が守られた良好な景観のまち」として、水のみち地区（街なみ環境整備事業）は、市が取り組む主要事業であります。 城下町の歴史や街並み、風情や文化は当市を代表する観光素材であり、その活用が市街地回遊や賑わいづくりを進めるうえで重要なものと位置付けております。
	今後、事業全般に係る意見を聞く場はあるのか。	町内会単位など、要請に応じて対応してまいります。「水のみち地区」の整備にご理解をお願いいたします。
	この説明会の議事録を公表するなど、水の道構想の全体像や趣旨、整備内容をもっと多くの人に知ってもらうよう工夫してもらいたい。	水のみち地区の整備につきましては平成24年度の構想策定から年数も経過しておりますので、今回の説明会を通じて事業認知度の向上に努めたいと考えております。まずは、ご出席いただいた皆様に資料とこの問答集を配布するとともに、市ホームページに「街なみ環境整備事業」のページを開設し、説明会資料と問答集を掲載するなど、情報発信させていただき、地元の皆様はもとより、広く市民の皆様にも事業PRを行い、周知並びに理解に努めてまいります。

街並み環境整備事業「水のみち地区」整備にご理解とご協力をお願いします。